

主題：ローマ人への手紙第5章から第8章——聖書の核心

メッセージ 4

キリストの死と復活において彼と一体化される

聖書：ローマ6:3-6. I コリント1:30前半. ガラテヤ2:20. エペソ2:5-6. ヨハネ15:1, 4-5

I. 「キリスト・イエスの中へとバプテスマされたわたしたちはみな、彼の死の中へとバプテスマされた」——ローマ6:3：

- A. バプテスマは形式や儀式ではありません。それはわたしたちとキリストとの一体化を表徴します——3節。
- B. バプテスマを通して、わたしたちはキリストの中へと浸し込まれて、彼をわたしたちの領域とします。それによって、わたしたちは彼の死と復活の中で彼と結合されて一となります——ガラテヤ3:27. コロサイ2:12-13。
- C. わたしたちは最初の人、アダムの範囲の中で生まれましたが（I コリント15:45, 47）、バプテスマを通して、第二の人（I コリント15:47）、キリストの範囲の中へと移されました（1:30. ガラテヤ3:27）。
- D. キリストと彼の死は一です——ローマ6:3-4前半：
 - 1. 彼を離れては、わたしたちは決して彼の死の中へとバプテスマされることはできませんでした。
 - 2. キリストの死はわたしたちをこの世とサタンの暗やみの力から分離し、わたしたちの天然の命、古い性質、自己、肉だけでなく、わたしたちのすべての歴史さえも終結させました——6節. ガラテヤ2:20. 5:24。
 - 3. 彼の有効な死の要素は、復活した、すべてを含む方である彼の中にのみ見いだされます——ヨハネ20:25-29. I コリント15:3-4. ピリピ3:10-11。
- E. わたしたちは彼の死の中へとバプテスマされることを通して、キリストと共に葬られました。わたしたちの古い人はキリストと共に十字架につけられ、死の中へとバプテスマされることを通して、彼と共に葬られました——ローマ6:4前半, 6前半。

II. 「キリストが御父の栄光を通して死人の中から復活させられたように、わたしたちも命の新しさの中を歩く」——4節後半：

- A. わたしたちはキリストの死の中へと彼と共に葬られ、そしてわたしたちは彼と同じように復活させられました。ですから、わたしたちは命の新しさの中を歩くべきです——コロサイ2:12. エペソ2:5. ローマ6:4。
- B. 命の新しさの中を歩くとは、復活の領域の中で生き、命の中で王として支配することを意味します——4節. 5:17。
- C. 命の事柄に関して、ローマ書第5章10節は、わたしたちが神の御子の命の中で救われると言い、第5章17節は命の中で王として支配することに言及し、第6章4節は、わたしたちが死んで、キリストと共に葬られたのは、命の新しさの中を歩くためであると宣言しています。
- D. バプテスマされた後、わたしたちは復活の中で新しいパーソンとなります。復活は

将来の有様であるだけでなく、現在の過程でもあります——Ⅱコリント5:17. ピリピ3:10-11。

- E. 命の新しさは、復活の中のキリストご自身である命を与える霊と密接な関係があります。その霊は、命の新しさの中を歩くための道です——Ⅰコリント15:45後半。
- F. 命の新しさの中を歩くことは、わたしたちが完全に造り変えられて、キリストのかたちに同形化されるまで、わたしたちの中のアダムに属するものをすべて対処する一種の生活です——ローマ8:29。

Ⅲ. 「もしわたしたちが、彼の死の様の中で彼と結合して生長したなら、彼の復活の様の中でも彼と結合して生長するのは」——6:5 :

- A. これは有機的な結合を現しており、その中で成長が起こります——Ⅰコリント6:17。
- B. キリストとの有機的な結合において、彼の死と復活は今やわたしたちのものです。なぜなら、わたしたちは彼の中におり、彼と有機的に結合されているからです——1:30. 6:17。
- C. わたしたちはキリストの中へと接ぎ木されました——ローマ11:17-24 :
 - 1. 接ぎ木とは、二つの命を結合させることであり、それによって、それらは一つのミングリングされた命と一つの生活にあずかります——ヨハネ15:1, 4-5, 9-11。
 - 2. この接ぎ木は、わたしたちの消極的な要素をすべて排出し、わたしたちの神が創造した能力を復活させ引き上げ、わたしたちの全存在に浸透して、わたしたちを造り変えます——ローマ12:2。
 - 3. わたしたちがキリストの中へと接ぎ木されるために彼は、肉体と成ること、十字架、復活の過程を通して、命を与える霊と成らなければなりません——ヨハネ1:14. ガラテヤ3:1. 使徒2:24. ヨハネ20:9. Ⅰコリント15:4, 45。
 - 4. キリストにある信者として、わたしたちは接ぎ木された生活をすべきです。それは、わたしたちが彼と一つ霊であり、彼との有機的な結合の中で生きる生活です——6:17. ヨハネ15:1, 4-5。
- D. キリストの復活の様が命の新しさです——ローマ6:4-5 :
 - 1. 5節の「復活」という言葉は、将来の客観的な復活に言及しているのではなく、現在の成長過程に言及しています。
 - 2. わたしたちはバプテスマされたとき、彼の死の様の中でキリストと共に成長しました。今や、彼の死を通して、わたしたちは彼の復活の中へと成長しつつあります——5節。
 - 3. キリストの死の要素が彼の中のみ見いだされるように、キリストの復活の要素もキリストご自身の中のみ見いだされます。彼が復活です——ヨハネ11:25。
 - 4. 適切なバプテスマを経験した後、わたしたちはキリストの中で、キリストと共に、彼の復活の様の中で成長し続けます。すなわち、命の新しさの中を歩きます——ローマ6:4-5。

Ⅳ. 「わたしたちは次のことを知っています。わたしたちの古い人が彼と共に十字架につけられた」——6節前半 :

- A. 「次のことを知っています」とは、実際には霊的ビジョンにおいて事実を見ることです——6節前半 :

1. わたしたちの知ることは、わたしたちの見ることに基づいており、わたしたちの見ることはビジョンから来ます。
 2. わたしたちはローマ書第6章6節から7節におけるわたしたちがキリストと共に十字架につけられることと、同じく8節から10節におけるわたしたちがキリストと共に復活させられることを見るためにビジョンを必要とします。
 3. わたしたちは霊の中に明確なビジョンが与えられるように神に祈る必要があり、それはローマ書第6章に啓示された栄光の事実を見るためです。
- B. ローマ書第5章で、わたしたちはアダムの中で生まれ、罪人に構成されました。ローマ書第6章で、わたしたちはキリストの中へとバプテスマされ、彼の死と復活の中でキリストと一体化されました：
1. 今や、わたしたちはキリストの中にいます—— I コリント1:30。
 2. キリストとの有機的な結合の中で、彼が経過したものは何でも、わたしたちの歴史となりました——ガラテヤ2:20. エペソ2:5-6：
 - a. キリストの歴史はクリスチャンの経験であり、キリストの経験はクリスチャンの歴史です。わたしたちはキリストから離れては何も持っていません——ローマ6:6。
 - b. 聖書が告げているように、わたしたちはキリストと共に十字架につけられ、彼と共に復活させられ、神によって天上で彼と共に座らせられました——ガラテヤ2:20. エペソ2:5-6。
 - c. クリスチャンのあらゆる霊的経験は、すでにキリストの中で事実です。それはすでにキリストによって経験されています——ローマ6:3-6：
 - (1) わたしたちが持っているものは、彼の経験の中に入ることです—— I コリント1:30。
 - (2) わたしたちはただキリストの歴史の中に入だけです。わたしたちが自分自身の歴史を作るではありません。
 - (3) 神は個別の信者に個別の経験を与えるではありません。わたしたちが持っているものはすべて、神がすでにキリストにおいて成されたことの中へと入るにすぎません——30節. エペソ2:5-6。
 - d. もしわたしたちがキリストの歴史の中へと、彼の経験の中へと入るなら、彼の歴史はわたしたちの経験となり、彼の経験はわたしたちの歴史となります。
 - e. キリストの中の真の霊的生活が始まるのは、キリストの歴史がわたしたちの歴史であり、キリストの経験がわたしたちの経験であることをわたしたちが見て、認識する時です——ガラテヤ2:20。

© 2021 Living Stream Ministry